

# 各業界からの要請、実現に向け活動



7/19 県内イベント業界に対する衛材支援要請



7/20 コロナ対策にかかる財政対策確保要請



7/28 那覇～粟国線就航視察



9 / 1 久米島高速船運航実証試験視察



11/5 首里城正殿玉座復元 尚家子孫寄贈

## NEXTチャレンジャー

### 当間やすのり 那覇市議インタビュー



当間 やすのり プロフィール

昭和35年 那覇市宇安次嶺(小禄)に生まれる  
 昭和54年 小禄高校卒業(14期生)  
 昭和59年 関東学院大学建設工学部卒業  
 昭和59年 建設業勤務  
 平成29年 那覇市議会議員初当選  
 令和3年 2期目当選

会派「無所属クラブ」代表  
 所属委員会

- 総務常任委員会
- 都市計画審議会委員
- 議会改革推進会議座長補佐

#### 質問1 議員を目指したきっかけ

身体障がいのある息子が中学・高校と6年間通った特別支援学校の行事の際、教員やボランティアの方々の人手不足、行政の支援のあり方に違和感を感じその後、地域の先輩議員の勇退時に挑戦しました。

#### 質問2 やすのり議員の「子育て」地域の福祉について

障害のある人も共生できるインクルーシブ社会実現のため「福祉環境の整備」づくりに強い思い入れがあります。

障がい者就労支援を目的とした乳幼児期から成年期までの個人の特性・情報を連携共有し、一貫して支援するしくみを持つ「複合施設整備」の実現に向け提言していききたいと思います。

#### 質問3 沖縄の貧困問題について

沖縄県の貧困は世代を超えて連鎖し、更なる貧困を生み出している現状があり、子どもの貧困率は約3割で全国値の約2倍です。そのため、対処療法的な方法では解決が難しく、沖縄振興計画に盛り込み、沖縄独自のベーシックインカム制度の創設等、大胆かつ繊細な取り組みが必要だと考えます。

#### 質問4 那覇市議会議員2期目の抱負

1. 様々な「格差」の解消を目指します。親の所得に関係なく負担のない学校教育が誰もが平等に学べるしくみづくり。障がい福祉だけでなく高齢化社会に向けた健康寿命拡大として民間スポーツジムを活用した施設整備づくり。所得格差解消のため、地域特有のベーシックインカム制度づくり。  
 2. 那覇市ができる生活支援、経済支援を含む、コロナ対策を市民目線で提案していきます。

お問い合わせ・相談窓口 行政相談等お困りの時は、お気軽にご相談ください。

### 小禄事務所

住所：〒901-0152 那覇市小禄 390 番地 1 階  
 TEL (098) 840-1060  
 FAX (098) 859-2080

### 沖縄県議会 無所属の会

住所：〒900-8501 那覇市泉崎 1-2-3  
 TEL (098) 866-2584  
 FAX (098) 866-2575



公式サイト：http://tomamorio.com

議会活動  
 報告日より  
 Vol.24

沖縄県議会  
 議員

まっすぐ真剣に政治に挑む！

# 当間モリオ

がんばろう沖縄！



## 2022年 復帰50年 新たな OKINAWA を前に進める！

2022年の干支は壬寅(みずのえとら) 厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎の年になるといった意のある年である。コロナを乗り越えて新たな時代に立ち上がる令和4年にしたいです。

この2年コロナ禍で観光関連産業は大きな打撃を受け、脆弱な沖縄経済は疲弊しています。

その中での「新たな沖縄振興」はアフターコロナ、未来を先取りし、日本経済の一端を担う新時代沖縄を展望しうる真に沖縄が主体となった計画になったのか。

1972年5月15日返還され今年で50年。当時の佐藤首相は「復帰しても豊かな沖縄になるまで沖縄の戦後は終わらない」と発言、豊かな沖縄は達成出来たのか。基地問題で政治に翻弄された振興策であってはならない。振興策予算も注ぎ込むだけで「ザル経済」をふさぐ取組みが無かった事を反省し、県内企業・県産品優先や農業、エネルギーでの地産地消での経済循環や域内自給率の向上で県民所得を引き上げる10年にしなければなりません。

まずは健康寿命の改善をしましょう。以前の長寿県沖縄も今は危機的状況で40位、自らの生活習慣を見直す、私もジョギングを日課としています。そして教育費無償化での人材育成への投資が、精神的・社会的に良好な社会を沖縄から前に進めるのです。

ロシアのウクライナ侵攻は許されるものでもなく、中国が台湾に向けている状況と変わりありません。台湾海峡危機も現実的状況として捉え、紛争にならない政治的努力や県民の安心安全を確保する国民保護計画も政治の責務です。

先が見えない時代であるからこそ「明るく、何事も楽しむ」ポジティブ精神で前向きに何事にも取り組んでいきます。



- 議会運営委員会 委員長
- 総務企画委員会
- 米軍基地関係特別委員会

## 当間モリオプロフィール

昭和 35 年 9 月 7 日 那覇市小禄生まれ  
 昭和 51 年 3 月 小禄中学校卒業  
 昭和 54 年 3 月 豊見城高等学校卒業  
 昭和 58 年 3 月 阪南大学卒業  
 昭和 58 年 4 月 小禄農業協同組合就職  
 平成 13 年 7 月 那覇市議会議員初当選  
 平成 16 年 6 月 沖縄県議会議員初当選  
 平成 28 年 6 月 四期目当選  
 令和 2 年 6 月 五期目当選

公式サイト：http://tomamorio.com

### 令和3年9月定例会(一般質問)

#### 青パト(地域安全パトロール事業)米軍関係者通報、1667件中・10件(0.6%)予算を見直すべきです。

- モリオ** コロナ対策での自宅療養者への対応と、11600件数を想定した観光関連事業者支援金について。
- 県答弁** 配食サービス等は市町村と連携、健康管理センターで看護師や医師が対応し入院調整や自宅訪問対策での健康観察に当たってマニュアル化、県職員も動員し対応している。事業者支援は、国の月次支援金に上乗せ給付の仕組み、国の方で書類不備解消に至らない状況があり産業公社や商工会と連携をとり書類整理のアドバイスを強化して行く。
- モリオ** 新たな振興計画での再生エネルギーへの支援と平成28年から年間約8億円予算の青パト事業は防犯抑止目的であるが、県警の防犯予算は年間約300万円。振興予算を検討すべきである。
- 県答弁** 再生可能エネルギーの新規税制は認められていない。創設される産業イノベーション特区での優遇措置を最大限活用する事で内閣府と調整して行く。青パトは、令和3年6月で県警への通報1667件中・1258件(75.4%)が泥酔者対応、米軍関係は10件(0.6%)。令和3年度7億3千万円・100台規模で事業を実施、効果の検証を精査すべきで、地域防犯に対する予算の形も検討すべきと考える。
- モリオ** 首里城正殿等火災保険の支払い状況と国営沖縄記念公園の国有財産使用料の納付状況を伺う。
- 県答弁** 火災保険約70億円の支払は国へ約63億円、美ら島財団に7億円が支払われた。その中で県は首里城正殿等予算で今年度24億円を予定している。又、水族館・首里城とも収入が無い中で国へ令和2年約3,200万円の使用料を納付。国に使用料等の減免要請を行ったところである。
- その他質問**
  - ①ふるさと納税の状況・全国最下位のマイナンバーカードへの取組み。
  - ②観光リゾート地に相応しい沿道景観形成の県道の取組み。
  - ③首里城再建での県産資材調達、県内企業優先発注への取組み。

### 令和3年11月定例会(代表質問)

#### 鉄軌道導入は重要、国・県でこれ迄約15億円の調査費用

- モリオ** コロナ対策での医療・療養施設体制と心の問題でのDVや虐待・うつ病等の現状と対策を伺う。
- 県答弁** 第6波に備えて最大1031床の病床が必要と想定しており入院待機施設の拡充で医療体制を守り必要数を確保する。宿泊療養施設は8施設825室を確保、1400室を確保で取組んで行く。那覇空港でも人員や機器の追加配備で検査体制強化を図る。令和2年のDV相談件数2092件で前年150件増、児童虐待対応件数1835件で228件増えており女性相談所及び児相の体制強化・関連機関連携で迅速・適切な対応に努める。
- モリオ** 新たな振興計画には、沖縄版ベーシックインカムで格差へのチャレンジを明記する事、又鉄軌道導入は調査検討ではなく導入に向けてと明記する意気込みを伺う。
- 県答弁** 次世代を担う子供達の支援は重要、子供の貧困等様々な分野の条文規定を沖振法に加えて頂きたいと協議調整をしている。鉄軌道は課題とされた費用便益比は1を超えるケースを内閣府に説明、河野前大臣は安く・便利に・定時性を持って使い易く結ぶかが大事と発言、名護・那覇を定時・定速・大容量で移動する鉄軌道導入は必要。導入に繋がる法律を求めて行く。
- モリオ** 国の予算で久米島町海洋深層水取水施設増設調査を行なっている。県はどのような支援を行うのか。
- 県答弁** 防衛省補助金を活用し、10万トン取水増設の事業内容を精査中、振興計画でも海洋資源等の有効活用等を促進するとしている。久米島町が主体となる計画に課題解決や技術的な支援を行なう。
- モリオ** 県公共施設等総合管理計画で改修等に年間で約700億円・総予算4兆円の予算が必要とある。大型MICE施設・サッカースタジアム・青果市場等はPFI(民間資金活用)事業の推進であるが進捗を伺う。
- 県答弁** 200位の施設になる優先度で順次改修。MICE施設には約75億円を執行、民間資金を活用してMICEエリア形成を推進し、サッカースタジアムはPFIも検討しているが都計法や公園法の制限で公共資金を活用する事も想定している。青果市場はPFIによる建替要望があり、合意形成や他県の事例を調査して整理を進める。

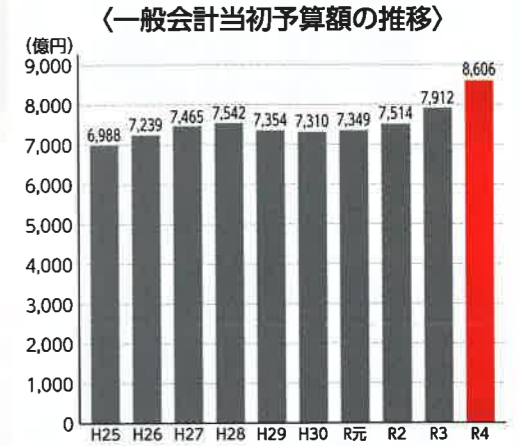


### 令和4年度 沖縄県一般会計当初予算8,606億円(694億円増)

令和4年度当初予算(案)は、感染拡大防止と県経済の回復・復帰50周年記念事業・首里城復興・子どもの貧困対策等の様々な取組みとともに、沖縄振興予算は減額の中で、コロナ感染症対策経費や社会保障関係経費の増により、初めて8,000億円の予算規模となった。

#### 「令和4年度重点テーマ」

- 1、新型コロナウイルス感染症の克服と県経済の回復
- 2、復帰50年のあゆみと沖縄の未来と希望の発信
- 3、世界に誇る自然を守り、調和した脱炭素島しょ型社会の実現と沖縄文化のさらなる発展
- 4、誰もが活躍できる魅力ある地域社会の実現
- 5、DXとイノベーション等による「稼ぐ力」の強化
- 6、未来を拓く人材育成の推進



- 翁長県政から続くワシントン駐在員活動事業について  
平成27年から令和3年度で旅費・委託料約4億7千万円、人件費2名分で年間3千万円の7年で約2億円余。合計すると約7億円の予算を使っているが費用対効果の疑問点が残る。今年も知事訪米予算が約800万円組まれているが、復帰50年、平和発信の拠点施設の平和祈念資料館の改修・拡充も重要ではないか。
- 健康長寿おきなわの復活について  
健康寿命の状況は男性26位から40位、女性は10位から25位と下がっている状況です。事業者の健康経営支援等への事業費3,540万円、歯科保健推進事業費717万円。何とも寂しい予算です。沖縄の魅力は健康・長寿でもある。県民所得向上も大事だが県民が健康である事が重要と考える。

### 令和4年度末県債残高 見込額5,708億円 前年度270億円減

県債残高は平成25年6,652億円でしたが毎年減少、一人当たり残高も東京、神奈川に次ぐ45位で都市圏並の低さである。振興策での高率補助が影響しており借金が少ない事は良い事ですが、コロナ禍で民間事業が縮小、土木建築部の予算も111億円の減、振興公共投資交付金も64億円減、投資的経費がこの10年で最も最小の1,137億円。経済回復にインフラ整備で活力を与える事も重要と考える。

